

下水の道のり

水再生 しんぶん

国立学園
小学校
増田 和樹

一学期に学んだこと、ふれあい下水道館や北多摩一号水再生センターを見学して知ったことを用いたことをまとめました。



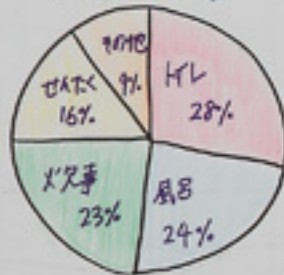
【下水道の仕事】

1. 汚れた水をきれいにする。
2. 街を大雨から守る。

【下水道の種類】

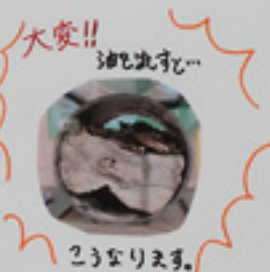
- 合流式**...昔に作られた街に多い。大雨の時、汚水も川に放出されてしまう。
- 分流式**...新しく作られた街に多い。大雨でも、汚水が川に放出されることはない。

下水の割合



ふれあい下水道館で地下4階まで流れる小川軒集渠(内径45cm)。小さいお風呂にして、思っているより狭い。

(新鮮な空気は入るけど、臭い管もある。) 下の写真見北多摩一号水再生センター



こうなります。



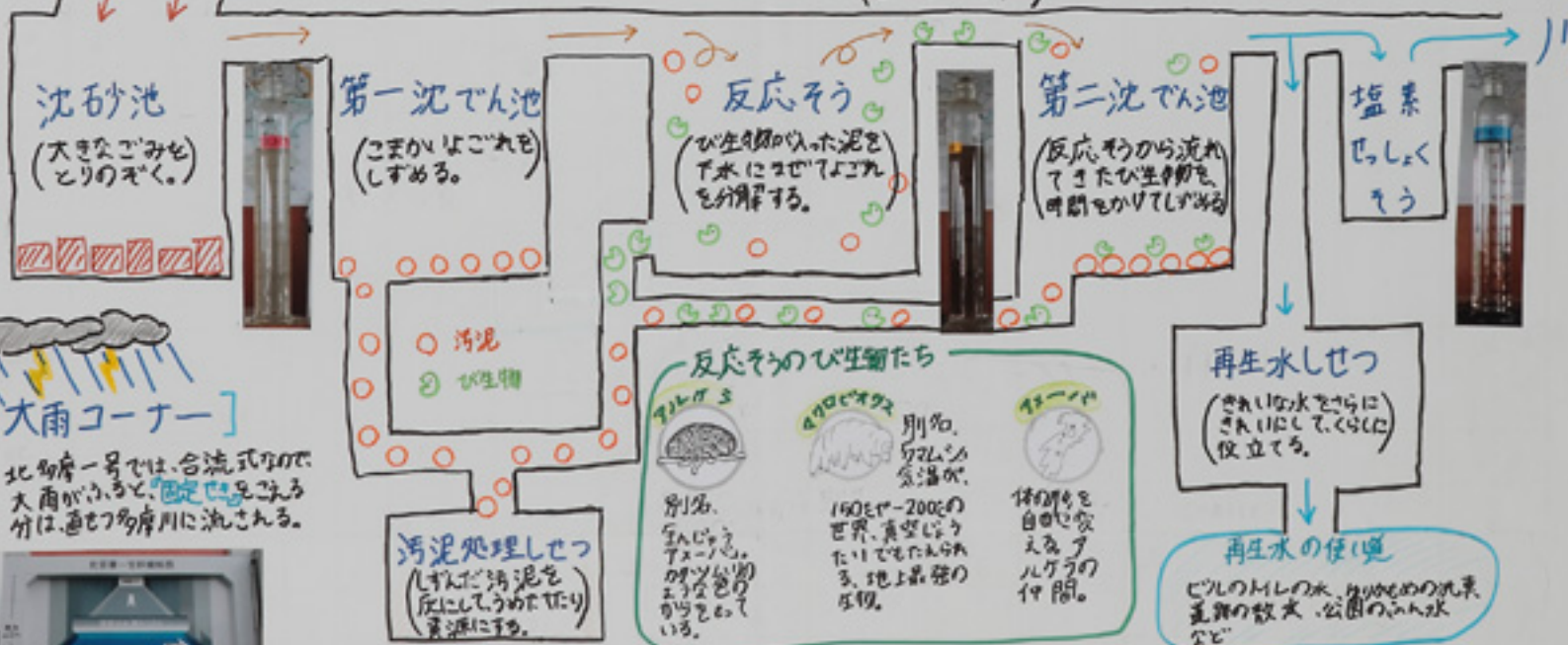
人が入れないくらい小さい下水道管を埋めるための機械。先んこのカメラがついている。

じつは、多摩川の水の50%は... 下水処理水!!

水再生センター (都内21ヶ所)

多摩川にはポンプ所はない。

ポンプ所 (地下深くまで流れてきた下水をくみ上げる)



【大雨コーナー】

北多摩一号では、合流式なので大雨がふると、一定の量までは、通った多摩川に流される。



北多摩一号には、雨天時貯留池が7つもあり、入ってくる下水の量を調節する。その他、東京メトロ (降っている雨をレインと地上再生計で観望し、リアルタイムに表示するセンサー) を利用している。

北多摩一号水再生センター

特色

- 多摩川の対岸にある南多摩水再生センターと連絡管で結んでいる。
- 一方が被災した時には、排水や汚泥を処理できるバックアップ機能。
- 施設更新時の共有化



昭和48年 注丸
面積 13600㎡



府中、国分寺、立川、小平、小金井、東村山のおよそ48万人分の下水を処理している。一日に、271000㎡(学校のプール900杯分)の下水



連絡管の支柱大模型。中に排水や汚泥を流す管が通っている。